

IAEG 会長の挨拶

Scott Burns

インドのニューデリーにおいて定期総会を迎え、振り返ると IAEG にとっては大きな出来事となる年でした。イタリアでは **Giorgio Lollino** と彼の仲間のリーダーシップのもとですばらしい大会となりました。この大会では参加者数、アブストラクト数、論文集のページ数が新記録となり、加えて web 上で初めてのビデオ講義をやりました。ウェブサイトもまた **Giorgio Lollino** の指揮により、会員や各組織からのアクセス及びビデオ講義へのアクセスを容易にする改善が続けられています。学会誌は **Martin Culshaw** のリーダーシップで向上してきています。すばらしいことに毎回 200 ページとなり、また、アブストラクトの選択も二か国語だけでなく三か国語(著者の母国語が英語かフランス語以外のとき)になっています。会計 **Jean-Alain Fleurisson** のリーダーシップのもとで学会の財務もすこぶる健全です。姉妹学会との間で結ぶ **FedIGS** の協力関係は強く、それぞれに有益なものとなっています。これらの成果は前会長の **Carlos Delgado** と役員の方々のリーダーシップによるものです。これら全ての方々に感謝いたします。

これからの総会では挑戦的に検討すべき大事なことがあります。第一に、会誌の電子化についてどう進めるかです。次に電子版を選択する会員の会費を検討するための小委員会を設置しました。今後その検討報告をもとに議論していきます。昨年、二つの新しい学会賞を決めましたが、その運用を始めなくてはなりません。**STA(Science and Technology Awards)**と**TPA(Technology Progress Awards)**について議論し運用法を決める必要があります。2018年9月にアメリカのサンフランシスコで開催予定の次の大会の計画は順調で、**Memorandum of Understanding(MOU)**もこの会議で承認される見込みです。**News letter**による学会員のより良いコミュニケーションについてのアイデアも議論していきますが、安価でより良いものの可能性もあると思います。

今後行われるミーティングに大いに期待しています。昨年を通じて助力くださった方々、とりわけ学会と一緒に運営した **Faquan Wu** 事務局長と中国のスタッフの方々、おめでとうございます。**FedIGS** のミーティングで中国に行ったときにスタッフの方々に会う機会がありました。また、アジア地域の副会長である **Yogendra Deva** とニューデリーの総会後に参加した会議の組織委員の方々にも感謝いたします。